

## 令和6年度第1回蓮田市いじめ問題対策連絡協議会 会議録

日時 令和6年11月28日(木)  
午後1時30分～3時30分  
場所 蓮田市役所303～305会議室

### 〈出席委員〉

加藤 繁会長、関根雅江委員、岩崎 淳委員、鈴木菜美委員、吉澤一徳委員、山下 博委員、  
田口喜雅委員、上田 悟委員、中田泰広委員、吉里達哉委員、玉木明美委員、馬場邦明委員、  
荒井英子委員

### 〈事務局〉

西山通夫教育長、安田修一学校教育部長、堀内健司学校教育課長、辻本真理子学校教育課指導主事

#### 1 委嘱（新規の委員へ）

2 あいさつ 加藤 繁 会長

#### 3 自己紹介

#### 4 会議の公開について

蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、原則、公開する。

#### 5 議事

会 長 本日は、14名中13名の出席となります。蓮田市いじめ問題対策連絡協議会設置条例第6条第3項で規定する過半数に達しているため、本日の会議は成立となります。

##### (1) 令和5年度第1回会議議事録について

- ・説明…事務局 辻本真理子 学校教育課指導主事

##### (2) 蓮田市いじめ問題対策連絡協議会設置の趣旨について

- ・説明…事務局 堀内健司 学校教育課長

##### (3) 蓮田市いじめ防止基本方針及びその改定の概要について

- ・説明…事務局 堀内健司 学校教育課長

##### (4) 本市のいじめ問題の状況や対応について

- ・説明…事務局 辻本真理子 学校教育課指導主事
- ・質問…学識経験者 上田委員

「今年度は、10月時点で昨年度より小学校のいじめ認知件数が大幅に増加している

が、どのようにとらえているか。」

・回答…事務局

「今年度、集団の中で起こったいじめの認知をしたため、関わりをもった児童すべてにおいて1件としている。今年度、特に急増しているとは捉えていない。」

(5) 情報交換

①埼玉県中央児童相談所 鈴木 担当課長から

- ・令和5年度虐待件数は、前年度比で微増ではあるが、依然として多い。家庭環境の状況を関係機関と連携して情報共有をし、虐待等の早期発見を行っている。PTAの方にもご協力いただきたい。

②蓮田市小中学校長会副会長（小学校） 中田校長から

- ・年度当初に、教職員に対しいじめ防止基本方針を確認し、指導している。具体的には①いじめ防止の取組、②早期発見・早期対応、③組織的対応、④再発防止についてである。
- ・コロナ禍で、子供たちの小さい頃の体験活動の不足を感じている。今後充実させていきたい。

③蓮田市小中学校長会副会長（中学校） 吉里校長から

- ・毎月の校長会後に情報共有を行っている。
- ・他学年と比較し、1年生は幼さから問題は起きやすいと感じるが、情報を把握し、組織的に対応している。
- ・事後指導に力を入れるのではなく、日頃から生徒に話をする事で、未然防止に力を入れるよう教職員に指導している。

④蓮田市PTA連絡協議会 吉澤 会長から

- ・多忙な保護者が多く、子どものことをどこまでわかっているのか。スマホの使い方について不安に感じることもある。
- ・子どもたちと接する活動の中で、子どもの幼児性が増していると感じる場面があった。いじめた側にその認識がなく、助長してしまっている部分があると感じる。
- ・意見…学識経験者 上田 委員  
「文部科学省の調査結果では、いじめや不登校の件数が過去最多である。いじめは、予防と早期発見が大事だが、発見しづらい面がある。先生方の変化に気づく洞察力が大切である。」

⑤蓮田市人権擁護委員 関根 委員から

- ・蓮田市人権擁護委員会では、地域の保育園での「人権教室」、小学校での「人権集会」への参加、高等学校での「人権講座」を行っている。保育園では特に、いじめている側は自覚がない場合が多い。使う言葉はいじめのきっかけになり、小さい頃からいじめは許されないという意識をさせるようにしている。子どもたちに伝えていくことが大事であるので、小中学校でも、ご活用いただきたい。

(6) 講演 埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課指導主事 原 剛 様から

①演題：「生徒指導上の諸課題について」

②情報提供

- ・今年度、自殺の件数が増加している。兆候がないことが多い。友だちにほのめかすことは多い。SOSをキャッチしてほしい。相談された場合には、一人で抱え込まず、その場で本人を説得して、教員や専門機関との連携を承諾させることが大事である。

(7) その他

- ・次年度の第1回連絡協議会の開催について 11月実施予定

6 傍聴者 1名